

# 九条の会

秋葉区「九条の会」事務局

新津教育会館内

新潟市秋葉区善道町2-9-44

Tel 0250-21-3691 Fax 0250-21-3692

<http://9jo.iinaa.net/index.htm>

## 出揃った改悪案！

### ～ 着々と進む改憲準備 ～

#### 憲法施行 65 年目の危機

今年 4 月、自民党、たちあがれ日本、みんなの党がそれぞれ改憲案を発表しました。衆参の憲法審査会も具体的な議論をはじめています。施行 65 年の節目の年、改憲の動きが一段と加速しています。

#### 各党の案の共通点

1. 自衛隊を軍に格上げし、集団的自衛権を認める。海外派兵、国内治安維持を任務とし、軍法会議を設ける。
2. 緊急時に内閣に強力な権限を与える緊急事態条項を盛りこむ。
3. 改正手続きを定めた 96 条の要件の緩和。

ベトナム戦争に韓国は 4 万もの軍隊を派遣、アメリカの手下として罪のない人々を殺傷しました。もし、9 条が改悪されていたら日本も同じことをしたでしょう。日本の若者がイラクやアフガニスタンにのりこみ、人々に銃を向ける、それが集団的自衛権の正体です。

#### 人の不幸につけこむ

東日本大震災や原発事故の対応のまずさが憲法のせいだなどと思う国民は一人もいないでしょう。それをこの際、震災を利用して改憲を正当化、一気に進めようと改憲勢力は画策しています。この条項には重大な危険がかくされています。「内閣の強力な権限」とは、たとえば緊急時戒厳令をしいて一切の法律を停止、権力が勝手にふるうことができることを意味します。国会の権限はく奪、反対党の弾圧・解散、党員を逮捕することさえその気になればやれる（ヒトラーがやったし、橋下大阪市長が首相になったらやりかねない、なにしろ独裁を公然と賛美している）。

#### 改正手続きをゆるめる

65 年間改憲を阻んできた大きな力が 96 条でした。衆参両院議員の 3 分の 2 以上の賛成がないと改正の発議さえできないというきびしい条件が、高いハードルになってきたからです。この 3 分の 2 を過半数にゆるめるのが 3 党案とも共通しています。昨年 6 月、「96 条改正をめざす議員連盟」が発足、超党派の議員 200 人が参加しています。正面から 9 条改悪を訴えても国民の支持は得られないから、この一点にしばって 9 条改悪にもっていく、これが狙いです。

#### 民主党は

改憲案こそ出していませんが、震災や消費税のドサクサにまぎれて、「壊憲」といっていい政策を次々にうちだしています。「動的防衛力」をかかげた新防衛大綱、「武器輸出 3 原則」の撤廃、報道の自由と国民の知る権利を制限する「秘密保全法」、徴兵制につながる「マイナンバー法」……。

いざとなれば民主党がもともと根は同じ自民党などに同調することは疑いようがありません。マスコミを総動員して急速に改憲ムードを盛りあげることも考えられます。

まさに正念場が近づいています。

## 平和のメッセージ

秋葉区のすみずみまで響かそう、

皆でつなく、平和のメッセージを！

### 欲求不満がたまっています

長井智綱(北上)

現在の所、私は朝4時30分、目ざまし時計に起こされ、長男(41才になる前)の朝食用の味噌汁やうどん、ソバの汁等、平日作っています。その合間にTVや新聞を見ますが、消費増税、原発再稼働、橋本市長の事、私の欲求不満がたまっています。

第一に、消費増税。我々国民感情としては、民自公各党の代議士は何を考えているのか思って見ると、大企業の顔色(献金)を見ながら、中心に自分のふところ具合のみで、一般国民や中小企業の人々の事は口に出すが、腹の中では、上記の事のみがあると思う。自民、公明の時から続いている事を、今こそもうけなければと、野田首相以下。大企業やアメリカの財を少しでも、自分等にと思っていると思われる。なぜなら、言うに事かいて、武器輸出まで手を付けようとしている。

第二に、原発再稼働。野田首相以下民主党の議員やつながる官僚は、福島であれだけ被害が出ているのに、検討もそこそこに大飯原発再稼働をするといっている。ガレキがアメリカまで流れ付いていて、まだまだ流れている現状なのに、又、安全だから等いつてられないのではと、地震国日本に対しての危機感を持っていない首相以下の人達は、外国に逃げる準備をして、金集めしているのではと思われる。

第三の橋本市長の言動。自分が何でも出来るエセ神のつもりなのかと思う。部下は従属で、市長の思い通り出来るとかん違いしていると思う。TVで顔が売れた事で、何でもゆるされると思っている。本当ならば、数歩さがって物を見る事が大切なのではないかと思います。子供から成長時、どんな生活してたのか不明な所も、何かあるのでは疑問に思う。個人的に裏取引も考えられて来る。

最後に年金問題。もらいすぎと言ってるが、赤旗(5/31付)で出ている。年金課税強化、定率減税縮減・廃止等で20兆円増税されてる事を知っておくべきと思う。

日本国民の9条や25条を無視して、国民を苦しめる民自公各党に対しては、民衆の力で打破して行かなければならないと思います。橋本市長は労基法を今一度勉強してほしいです。

### 反戦歌が必要のない世のなかに

齋藤康治(こがね町)

私は1936年生まれ。アルゼンチンのタンゴが好きで13、4歳頃から聴いてきました。昔の、そうSPレコードの時代からです。

歌のタンゴは、日本でいえば歌謡曲、演歌といってもよいでしょう。男女の恋歌、人生への恨みの歌、昔を懐かしむ歌などなど。反戦歌も。

SILENCIO(静けさ)1932年

毎朝、年老いた母の銀色の毛すじにやさしく接吻して工場へ出ていった五人の息子たち。

戦いがはじまり祖国の危機に彼らも戦場へ。フランスの地は血に染まる。母はただひとり、残された五つの勲章...

もちろんアルゼンチンの作者たちの作品ですが、フランスの地が舞台、第一次大戦の終了がバックグラウンドです。

消灯ラッパがなり、不世出の大歌手、カルロス・ガルデル(1890~1935)が歌いだす。女性コーラスによる子守唄も。「夜の静けさ...心の静けさ...」で曲が終わります。

いつの世も、戦争は若者たちの命を奪い、母を悲しませます。反戦歌は、いくらい曲だといっても戦争があるから生まれるわけです。この歌を聴くたびに、新しい反戦歌が必要のない世の中にしたいものと思います。もちろん、われらが憲法9条が指針です。